

【22_005/思考系メルマガ】「もう少し握ってたら、もっと伸びたのに！！」に対する解決法

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

年明け早々、派手に風邪をひいた妹者ですが

家族の誰に感染する事もなく、無事に回復してくれてホッとしている今日この頃です(笑)

今、感染性胃腸炎が流行しているようなので、皆さんもご注意ください。。。

□
└─┘ 「もう少し握ってたら、もっと伸びたのに！！」
└──────────┘

トレード界限を見ていて、見かけない事がないと言っても良いくらい

この手の怨嗟の音が後を絶たない訳ですが。。。

この問題、ある『発想の転換』をすれば割とアッサリ解決してしまうものなのです。

これまでも何度か話をしてきたことがあるので、既に察している人もいるかもしれませんが

～～

『最初に出口(利確 / 損切り位置』を決めてしまう事

～～

これです。

2つ前くらいのメールで、相場の『不確実性』という話をちょっとしましたが

相場は基本的に、先の値動きを前もって察知する事は 不可能 です。

繰り返しになりますが

先の値動きが読める手法等がもし本当にあれば、相場はランダムウォークではなく

その手法を知る特定の人だけが儲け続ける仕組みが出来てしまうからです。

『相場の不確定性』という原理原則が正しいとされる以上、先の値動きは分からないわけですから

「いつまで握っていれば、一撃で目一杯の利益をとれるのか」を知る事は難しいのです。

ここで話を終わらせてしまうと

「じゃあ、どうすりゃいいんだよ！」って話になってしまうのですが

その唯一の解決策が、先に書いたように『自分で事前にゴールを決める』事なのです。

ルールに沿って決めてしまえば、トレードする際にはそのルールに

「従わなければならない(というか、従えばトータルで稼げると理解している)」状態となるので

迷うことなく、損切りも利確も出来るというわけです。

当然、この域に到達するまでには膨大な検証とフォワードテストが欠かせないのですが

いつも一貫した手法、資金量に応じたロット管理、

そして『リスクに対してどれだけのリワードが取れば"トータルプラス"になるのか』

これらの要素が整理出来、ルールとして確立できれば

必要以上にポジションを引っ張って利確しきれないという事は大幅に少なくなります。

そして、その決め事に沿って計画的に利確をしているのであれば

その後結果的に何十、何百pips順行しようが、それは「チキン利確」ではないのです。

この感覚が経験ベースで理解できるようになると、一気にトレードは楽になるし

「もう少し握ってれば・・・」などと悩む事は一切無くなります。

今このジレンマで利確に苦しんでいる人は、一度この話を反芻しながら

自身の運用ルールを見直す機会を設けてみてください。

では、今回はこの辺で。。

クログキ(クロ)